

「すこやか」のシステム工法 / 自立と介護の家づくり

有限会社 ケアライフ・システム

〒600-8335 京都市南区吉祥院砂ノ町16

Tel. (075) 693-0333

Fax. (075) 202-8455

<http://www.care-life.info>

(2008年10/11月号)



## お米・稲作の話 (稲・禾)

稲刈りが済み、カエルの声も聞こえなくなった田んぼが広がっています。

実るほど 頭を垂れる 稲穂かな

本当は、まだ稲穂が風に揺られている間に発刊する予定だったのですが・・・。

最近、産地偽装や事故米の不正転用などでマスコミをにぎわせています。

米離れなどといわれ消費量が減ったとはいえ、日本人の主食である事に変わりはありません。

イネは本来多年生の植物ですが、栽培上一年生変異種の選別が行われていく過程で食用作物化されていきました。

生態系から、ジャポニカ種(日本型)とインディカ種(インド型)の亜種に分類されます。更にジャバニカ種(ジャワ型)を区別する分類もあります。

稲作の起源は、従来は中国雲南省といわれてきましたが、最近の調査で、中国江西省や湖南省で1万年以上前に遡る稲籾が発見されたり、浙江省では7000~6500年前の水田耕作遺物が発見されたりしています。

現在では、稲の水田耕作は揚子江中・下流に起源するとする説が有力です。

日本への伝来は、揚子江下流域原産米が山東半島・朝鮮半島南部を經由して九州北部に伝来した説や、揚子江下流域から直接九州北部に伝来した説があります。

日本列島での稲作の歴史は、最近の新たな遺跡の発掘や研究で、縄文時代後・晩期には栽培されていたことは確実だと推定されています。

水田技術は、最古の水田遺跡である弥生時代の初期の岡山県津島江道遺跡や福岡県野多目遺跡で、現代と同じ水田システムが確認されています。どうやら水田技術は最初から完成されていたようです。

現在では日本の総生産高のうち、北海道及び東北地方の占める割合が最も大きいのですが、寒冷地で稲作を可能にするために多くの技術開発が行われ、1931年に世界初の寒冷地用水稲・早稲：農林1号の育成が成功しました。

### \*チョット余談\*

新嘗祭：「天皇が新穀を天神地祇に勧めて神を祀り、みずからも食す」。語源は新饗(にいあえ)と考えられ、新穀を捧げて饗応するという意味です。日本書紀に記録があります。

農業を中心とした社会においては重要な収穫祭です。元々は、11月の第2の卯の日に行われていました。現在では、「勤労をたつとび、生産を祝い、国民がたがいに感謝しあう」日として、勤労感謝の日に制定されています。

年の字：『禾(イネ)』とそれを収穫する『人』を組み合わせた字で、稲が実ってから人に取り入れられるまでを表した文字です。穀物の成熟の周期から1年の周期を感じていたと思われます。

『禾』の字は本来『粟(アワ)』を意味し、穀物を代表し穀物一般の総称としても用いられましたが、後代にはイネを意味するようになりました。『米』は実を『禾』は茎や穂を含めた全体を指します。



# 第6回

—高齢者・障がい者・障がい児の住まいをみんなで考えましょう—

# ケアリフォームシステム 全国大会in沖縄

## 残存能力・潜在能力を活かす住環境

【日時】

平成20年11月16日(日) 9時~17時

**入場無料** 定員100名(先着受付順)

●申込み方法:FAXで事前にお申し込み下さい。(098-936-8818)

【会場】

### 沖縄産業支援センター

沖縄県那覇市字小祿1831番地1

TEL.098-859-6234 FAX.098-859-6230



### 11月16日(日)プログラム

#### 【事例発表】

「2007年 武藤技建 実績発表」

CRS研究会会長

(株)武藤技建 代表取締役 武藤俊之

「CRS会員による住宅改修事例発表」

コメンテーター 佐賀医大准教授 松尾清美

1. 介護保険から学んだ住宅改修  
(有)東洋商会 宮平智子 (沖縄)
2. 高齢者、残存能力を活かした改修  
(有)ラムハウジング 川上 優 (沖縄)
3. 住宅改造から見てきた生きる喜び  
こころ工房(株) 井手誠一 (長崎)

#### 【参加者によるグループディスカッション】

実例に基づいた住宅改造の検討と発表

- 高齢者 ●脳性マヒ ●脳血管障害(片マヒ)
  - 事故による下肢マヒ(車いす) 検討発表
- 3Dによるシミュレーション実演

主催/ケアリフォームシステム研究会(通称CRS)

後援/沖縄タイムス社・(株)タイムス住宅新聞社

協賛/TOTO(株)・沖縄電力(株)・沖縄三菱電機販売(株)

モリトー(株)・バリアフリータケウチ・安心計画(株)

お問い合わせ/ケアリフォームシステム研究会 092-403-6663

